

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	手づくり林道舗装等事業
事業主体 (連絡先)	野沢温泉村 (観光産業課 坂井田浩史)
事業区分	①地域協働の推進に関する事業 ⑥ーウ森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ハード
総事業費	817,850円 (うち支援金: 545,000円)

事業内容

林業従事者の高齢化による林地の荒廃地化を防止するため、地域住民が自らの労力で林道舗装等を行い農村の景観を守っていこうとすることは、自立への第一歩であり、村は地域住民の自立を促す契機を図ることを目的に舗装工事等に係る原材料(砕石・生コンクリート等)を支給する。



【住民による林道舗装事業の状況】

【目標・ねらい】

- ①農林地の荒廃地化防止
- ②農村景観と自然環境の保全
- ③農林作業時の安全な通行確保
- ④住民の自立意識の醸成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

林道を舗装整備することにより林地作業時の安全な通行確保と利便性が図られ、森林の荒廃地化防止と農村景観の保全を保つことができた。

地域住民が自らの労力で舗装などの工事等を行うことにより、自立意識の醸成と行政経費の軽減が図られた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

今後もこの事業を活用し、農村地域の環境保全に努めていきたいとの要望があり、自立の意識醸成が図られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

林業従事者の高齢化や後継者不足が課題となっている中で、林道を整備することにより林地作業時の利便性の向上や安全性が確保される。また、林地を取り巻く環境整備が進められることにより、担い手の負担軽減や林地の流動化が図られる。担い手の育成・確保を図りながら、荒廃地化の防止や多面的機能の維持管理に努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある